

## 今後 3 年程度の研究開発評価人材育成研修（初級）の実施方針（案）

研究開発評価人材育成研修（初級）については、これまでの開催状況及び新たなテキストができたことを踏まえ、別添をプログラムの基本フォーマットとし、今後 3 年程度はこのフォーマットに沿って研修を実施する。ただし、時間配分・講義順等は講師のスケジュール等に合わせて変わりうるものとする

### ◆ I. 講義（座学）

#### 講義①「最近の政策動向」 担当：文部科学省担当官（時間 30 分程度）

- ・「科学技術基本計画」、「国の研究開発評価に関する大綱的指針」、「文部科学省における研究及び開発に関する評価指針」の紹介等、国の政策動向を中心に講義。
- ・研究開発評価推進検討会のこれまでの活動や文部科学省の研究開発評価に関する取組の紹介。

#### 講義②「研究開発評価に関する基本講義」 担当：研究開発評価推進検討委員等（時間 60 分程度）

- ・研究開発評価の意義、政策体系、評価制度等の研究開発評価全般について講義（テキスト 2 章、3 章部分 他）。

#### 講義③「研究開発課題の評価」

担当：研究開発評価推進検討委員等（時間 60 分程度）

- ・参加者に研究支援担当職員が比較的多いことから講義項目として設定。ファンディング機関がどのような視点でプログラムを設計し、プロジェクト提案を促し、選考・評価するのか、採択した後にはどうマネジメントし、評価をするかという視点を中心に講義。

#### 講義④「機関評価」 担当：研究開発評価推進検討委員等（時間：60 分程度）

- ・機関評価、ビブリオメトリクス等の技法の講義。

#### 講義⑤「評価の種類とロジックモデル」 担当：研究開発評価推進検討委員等（時間：60 分程度）

- ・ロジックモデルを作成するワークショップ②に向けてプログラム評価におけるセオリー評価、プロセス評価、アウトカム評価などロジックモデル作成において必要な概念や用語等について講義。

### ◆ II. ワークショップ

#### ワークショップ①「自己紹介と課題の共有」 担当：研究開発評価推進検討委員等

（時間：60～80 分程度）

- ・アイスブレイクを兼ねたワークショップとする。自己紹介を交えながら各機関で抱えている研究開発評価に関する課題や悩みを共有し、2 日目のワークショップ②へ向けたグループの意識共有を図る。

#### ワークショップ②「ロジックモデル」 担当：研究開発評価推進検討委員等（時間：220 分程度

（休憩 60 分含む）

- ・ワークショップ①及び講義⑤を踏まえながら実際にロジックモデルを作成。
- ・5～7 名で 1 班とし、6～7 班でグルーピングする。
- ・国立大学・私立大学などの属性や規模に応じて近い者でグルーピングする。
- ・原則として 1 班に 1 名のファシリテーターが付くようにする。
- ・ケースの標準モデルとなるような、ロジックモデルや指標の設定について用意し、解説用に使用する。

## 研究開発評価人材育成研修（初級）プログラムの基本フォーマット

時間	1日目（11月27日）	時間	2日目（11月28日）
会場	文部科学省	会場	文部科学省
13:00～ 13:05 (5分)	開会の挨拶 文部科学省〇〇 〇〇	10:00～ 11:00 (60分)	【講義⑤】 「評価の種類とロジックモデル」（プログラム評価におけるセオリー評価、プロセス評価、アウトカム評価の整理。特にセオリー評価におけるロジックモデルの説明） 講師：〇〇先生
13:05～ 13:35 (30分)	【講義①】 「最近の政策動向」 「国の研究開発評価に関する大綱的指針」「文部科学省における研究及び開発に関する評価指針」を初めとした国の政策動向 講師：文部科学省〇〇 〇〇	11:00～ 14:40 (220分) ※途中、休憩（60分）を含む	【ワークショップ②】 （例：〇〇大学のケース等を題材に、学内研究資金制度のロジックモデルを構築する） モデレーター：〇〇先生 ファシリテーター：各委員  ・5～7名で1班とし、6～7班でグルーピングする・ ・国立大学・私立大学などの属性や規模に応じて近い者でグルーピングする。
13:35～ 14:35 (60分)	【講義②】 「評価の制度枠組み」（研究開発評価の意義、政策体系と評価制度の全体像） 講師：〇〇先生		
	休憩（5分）		
14:40～ 15:40 (60分)	【講義③】 「研究開発課題の評価」（プロジェクト評価を例に、大綱的指針を踏まえ、評価目的・対象・評価基準・評価指標・実施時期の概念を整理。特に研究開発のアウトプット、アウトカム、インパクト概念の整理） 講師：〇〇先生		
	休憩（10分）		休憩（10分）
15:50～ 17:10 (80分)	講師：〇〇先生・〇〇先生 【ワークショップ①】 自己紹介を交えながら各機関で抱えている研究開発評価に関する課題や悩みを共有する。 モデレーター：〇〇先生・〇〇先生 ※2日目のワークショップへ向けて、グループ毎に課題の共有や意識のすり合わせを行う。	14:50～ 15:20 (30分)	【発表・講評】（P） 【全体講評】
	休憩（5分）		
17:15～ 18:15 (60分)	【講義④】 「機関評価」（ビブリオメトリクス等の技法と留意点を含む） 講師：〇〇先生	15:20～ 15:30 (10分)	【修了証授与】
	移動（5分）	15:30	解散
18:20～ 19:20 (60分)	情報交流会（講師出席）		